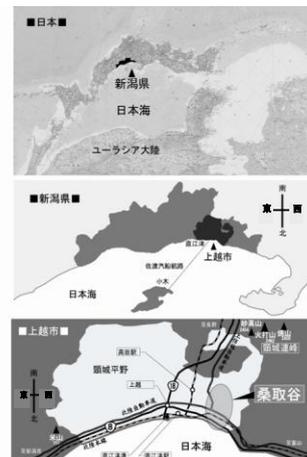
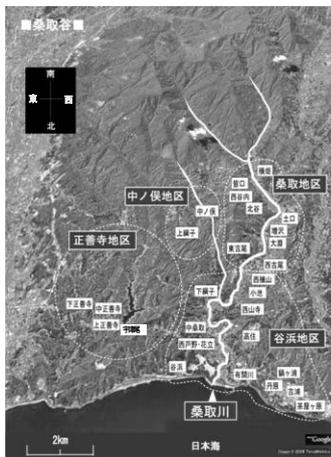


モデル事業名	かみえちご桑取谷 100の手仕事創出事業
活動団体名	特定非営利活動法人 かみえちご山里ファン倶楽部
ホームページ	http://homepage3.nifty.com/kamiechigo/
所属/担当者名	事務局/三浦絵里
連絡先	TEL/FAX : 025-541-2602 E-mail : kamiechigo@nifty.com
活動地域	新潟県上越市西部中山間地域

### ● 活動地域の概要

- 桑取川水系を中心とした里山・里海で、水源の森から海までが17kmという短い谷の特徴により、多様な環境、景観と独自の水循環系を持つ。
- 市街地から10km～30kmの距離にありながら、昔ながらの生活、文化が色濃く守り伝えられ、祭や年中行事なども多い。かつてこの土地で、渋沢敏三氏が調査に訪れその後濱谷浩氏が小正月行事を取材し、名作「雪国」が生まれた。
- 1世帯あたりの人数は2～3名。特に地理的に孤立した集落、ならびに谷のつきあたりに位置する集落は高齢化率が高く、また1世帯あたりの人口も少ない。
- 地域内の交通機関の現状は、桑取、谷浜、正善寺地区の路線バスで、これは通学、通勤の時間帯に限られている。公共交通機関が全くない集落もあり、車を持たない一人暮らしの高齢者は、市の運営する福祉バスを利用する他は、市街地に出るために、ハイヤーを頼まなければならない。
- 昭和30年代より、過疎高齢化が進み、田畑や森林が荒廃し始める。過去2～3年においては、空き家の増加と田畑の荒廃により、古民家や民具など貴重な文化財の業者買占めによる県外流出や、土砂崩れの被害などが顕著に現れ、景観にも大きな影響を与えている。



080331 現在 上越市人口センサスより抜粋

	合計	男	女	世帯数
28集落合計	1771	881	890	591

土砂災害と谷への不法投棄  
(中ノ俣集落)

- 地域内の産業は、兼業農業が中心。退職前の若い世代のほとんどは、市街地に働きに出ている。また高齢化が進む集落では、自給的農業にとどまり、産業や雇用には及ばない。皆口地区に、第三セクターの温泉施設、「くわどり湯つたり村」がある。

### ● 活動地域の課題

地域の課題のなかで最も深刻なのは、住民の受け継いできた知恵や技術、集落自治の衰退など、自然の荒廃のみならず、それを保全管理しながら活用するために培われてきた生活技能や、コミュニティを維持する知恵の詰まった文化そのものが消失の危機にあるということである。平成13年、NPO法人木と遊ぶ研究所が調査し、まとめた「伝統生活技術レッドデータ(表1)」により、この地域の伝統生活技術があと何年で消滅する危機にあるかが示され、その保全や記録の重要性が明らかになった。かみえちご山里ファン倶楽部では、設立以降地域資源調査や地域活動の支援、伝統技術の記録、復活、地域資源を活かした自主事業や産業開発、受託事業などに取り組んでいる。今後は、地域資源の発掘から始まったNPOの活動を基盤として、それを地域のあり方や維持、その手法についてどのように利用していくかが問われており、特に雇用や産業の創出は急務である。

表1 伝統生活技術レッドデータ  
(平成13年度 木と遊ぶ研究所(調査))

消滅 シカド	技術種	伝承者 数	伝承者 属性	留意点
A	石工	1	0	専業主婦・独居・居宅系
	金工	1	0	専業主婦・独居・居宅系
	製菓	2	7	専業主婦・独居・居宅系
	竹加工	9	8	独居・居宅系
	織	8	9	専業主婦・独居・居宅系
	薪の燃	8	9	専業主婦・独居・居宅系
	炊飯	44	44	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	12	12	専業主婦・独居・居宅系
	土間の	4	4	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	44	44	専業主婦・独居・居宅系
B	薪割	44	44	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	10	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	10	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	7	13	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	59	59	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	44	44	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	36	36	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	2	2	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	11	11	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	82	82	専業主婦・独居・居宅系
C	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
D	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
E	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系
	薪割	9	10	専業主婦・独居・居宅系

<レッドデータレベルランク付け基準表>

伝承者数(世帯数)	レッドデータレベル	留意点
0-10	A	伝承者を保全するために迅速な対策を講ずる必要がある
11-100	B	伝承者を保全するために迅速な対策を講ずる必要がある
101-1000	C	伝承者を保全するために迅速な対策を講ずる必要がある
1000以上	D	伝承者を保全するために迅速な対策を講ずる必要がある
21-100	E	伝承者を保全するために迅速な対策を講ずる必要がある
200-1000	F	伝承者を保全するために迅速な対策を講ずる必要がある
1000以上	G	伝承者を保全するために迅速な対策を講ずる必要がある

### ● 活動の内容

#### 活動① : 桑取谷のごちそう発掘

内容 : 地域内で生産される農作物、天然採取物、調理や保存術などの調査、ならびに商品開発

目的 : 食に関する知恵や文化の保全と共に、その購買を通して首都圏に住む人々との交流や、「第二のふるさと」「生存のための保険機能」としての新たな産業の核としていく。また、高齢者が主体となり得る「手仕事」を創出し、生きがいや副収入を創出できる体制を作る。

#### 活動② : 桑取谷の手技発掘

内容 : 木工、わら細工、植物などの加工技術の調査、ならびに商品開発

目的 : 木工品や自然素材を使った商品の開発を通し、間伐の推進や森林整備を促進し、森林の荒廃を防ぐ。また高齢者が主体となり得る「手仕事」を創出し、生きがいや副収入を創出できる体制を作る。

**活動③**：桑取谷「ことこと村づくり学校」実施

内容：古民家改修技術伝承事業ならびにコミュニティ拠点・都市交流施設化

目的：古民家改修イベントを通して、古民家改修の技術伝承を図ると同時に、上記商品を販売したり交流施設として整備することにより、地域のファン作り、伝承の仕組み作り、購買者の獲得などを旨す。

**● 活動の成果（平成 21 年度 平成 22 年 1 月 8 日現在）****活動①**：桑取谷のごちそう発掘

①地域の食材で市場には出回りにくいものや、この土地に特徴的な美味しさを持つ作物の調査、加工品の試作。首都圏の協力者によるモニタリングも実施（桑取谷夏のおすそ分け（サマーギフト）開発・山菜や農作物加工品の試作等）。

②「その土地で採れるものをその場で食べる」＝「地産即食」をコンセプトに打ち出し、食材のより美味しくかつ安全な提供という、「食」に対する新たな価値を提案。本年度は農作物パッケージの商品開発/モニタリングならびにメニューや手法を研究。

県内の市街地、ならびに首都圏のモニターからは、大量生産品とは全く違う「文化を伴う地域性」や「味」に対する評価が高いことはもちろん、「スーパーやレストランでは手に入らない」「ここでしか体験できない」という観点からも評価を得ている。今後、商品とともに「地域に足を運んでもらえるしかけ」や「交流の場作り」への効果が期待される。

ヒアリングや試作を通して地域内では、「こんなものが喜んでもらえるのか」「そんなやり方もあるんだねえ」というような声が多く聞かれた。食費者側に立った視点、世代の違う視点などを加えることにより、これまで「あたりまえ」だった農作物や加工品に、新たな価値が加わる可能性が十分にある。

**活動②**：桑取谷の手技発掘

①講習会などを通しての、伝統技術の調査・記録・発掘（技術伝承講習会「神楽面」「カンジキ」・木製品体験商品開発「足踏みろくろ」講習会など）

②地域の資源と技術のコーディネートによる、付加価値商品の開発（木器開発/ヒアリング）

特にこれまで実施した木工に関して、地域の中には技術は持っているながらも個人的に使うものや作品を作っている人が多かった。今回の講習会の参加者にはこのような技術保持者が多く、今後手仕事産業を開発していくための人材発掘の機会として、大変有意義であった。身近に技術を習得する機会はこれまでになく、参加した地元住民からは、「貴重な機会だった」「また声を掛けてほしい」という反応をいただいている。

木器開発においては、本年度杉間伐材とケヤキ材を使い、上越市から「上越マイスター」として認定されている建具職人、ろくろ職人、そして漆職人に作成を依頼し、地場材と高い技術を組み合わせることで、高付加価値の商品開発を目指した。また、この地域には、かつて生活用品として木工品（臼・杵・ソリ・道具など）製作のために保存されたが、時代の流れとともに使われることがなく、屋根裏や倉庫に眠っている銘木が多くある。また、土木工事の支障木として、伐採、放置される雑木の太径木、採算が合わず放置される杉間伐材なども多い。これらの材の有効利用として、高い効果が期待される。ヒアリングではデザインへの好感触、針葉樹の器の新鮮さに対する反応なども得られた。また「地域材で地域の職人が作ったものがあるとは素晴らしい」という声もあり、注目度の高さやニーズもうかがえる。

**活動③**：桑取谷「ことこと村づくり学校」実施

7月・8月・9月・10月・11月の5回実施終了。地元職人を講師に迎え、古民家改修の技術とともに、地域の文化背景も学んでもらえるカリキュラムを工夫している。大工道具の使い方や手入れ方法から始め、ホゾ切りやクギ打ちなど、基本作業を行いながら徐々に指導を行っていくため、初心者や女性参加者も積極的に参加している。本年度の実施では、外壁の下見板張りがほぼ完成。天候を問わず、屋内での活動が可能になった。また、囲炉裏の上に設置する「火棚」製作なども行った。

これまでの実施で述べ約60名、上越市内、新潟県内、首都圏等幅広い地域からの参加があり、地元とのかかわりやその後の囲炉裏を囲んでの交流会を通して、この地域の生活の知恵や郷土料理など、古民家だけでなく文化的背景にも大変興味を持ち、桑取谷に通うのが楽しみという声が多い。また、地元講師にとっても、消滅の危機にある技術の伝承や、都市住民との交流などに期待を寄せ、協力いただいている。本年度は今後2月・3月に実施で終了予定。

**● 今後の課題及び展望**

・課題：各事業実施を受け、商品開発に関しては、今後デザインの洗練や品目の精査、販売を行っていく場合の許認可の調査、具体的な企画に応じた人材の確保等が必要である。また、企画実施に当たっての運営体制についても同時に検討していく必要がある。古民家改修イベントなどについては、参加者アンケートをもとに、来年度実施に向け、より質の高いカリキュラム作成や、実用に向けた必要工事とのすり合わせが必要になる。

・展望：本年度については今後、古民家改修事業2回の実施予定のほか、簡易茅葺き技術開発・味噌試作・木挽き、大工技術記録まとめ・ワラ細工/竹細工講座等も実施の予定。H22年度以降は段階的に、食品加工物や工芸など、100種類の手仕事の商品開発を目指し事業を継続する。さらにこのうちのいくつかを実際に販売や雇用の創出、地域の高齢者のための収入源になる仕組みとして立ち上げる。また、古民家の技術伝承をしながら、施設を利用できる形にまで整備し、販売・交流施設として地域のファン作り、伝承の仕組み作り、購買者の獲得などを旨す。